

令和2年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(特許)

フロンティア・ラボ株式会社

代表取締役 渡辺 忠一

会社概要

<http://www.frontier-lab.com/jp/>

所在地 福島県郡山市菜根4-16-20

設立 1991年

資本金 20百万円

従業員 59名

事業内容 分析機器に関する研究開発・製造・販売



受賞のポイント

- 目に見えるものを中心に特許などの知的財産権で守りつつ、製造方法など第三者が把握できない部分はノウハウとして秘匿することで、オープン&クローズ戦略によりガスクロマトグラフ質量分析計と用いる熱分解装置(パイロライザー)で、国内シェア90%、世界シェア50%超の独占的な高いシェアを維持している。交換が必要な部品を継続販売する消耗品ビジネスも展開し、消耗品部分を特に手厚く知財で保護している。
- パイロライザーでは後発の参入であったが、競合他社を圧倒的に上回る性能などを実現して、シェアを拡大し、世界の名だたる企業や研究機関が同社製品を採用しており、NASAの火星探査プロジェクトに採用された。また、知的財産権の侵害には、警告等により厳格に対応し、近年では侵害品もほぼ発生しない状況を確認している。
- 工場なし、営業マンなしのファブレス企業であり、開発成果の特許などの権利で保護した後、国内外で学会発表や論文掲載をして、専門家へアピール。論文や特許で顧客である専門家への営業を実施している。



熱分解装置
マルチショット・パイロライザー



スペースシャトルのモニタリングに
採用された Ultra ALLOY®
キャピラリーカラム



新たな研究開発拠点のR&Dセンター
(2020年1月開所)